



SⅡ学校だより No. 1



小豆沢学びのエリア(志村二小・志村四小・志村二中) 校長 小室 仁一

校訓「まじめ」 ～思いは学校をよくする～

本校の校訓を知っていますか。校訓とは、こういう学校にしたいという思いが伝統的に受け継がれたものです。本校の校訓「まじめ」は30周年記念誌によると1950年(昭和25年)の8月に国旗掲揚塔の下に「まじめ」が写っていました。「まじめ」の文字は初代校長の根本校長先生が書いたものと記載されています。ということは、初代校長が「生徒が皆まじめでいてほしい」という願いが込められていたと思います。

本校の始業式、入学式、新入生歓迎会の皆さんの姿をみると本当に立派な態度に嬉しく思っています。部活動説明会では盛り上がる場所は盛り上がり、けじめをつけるところはしっかりできていました。また、2分前行動も自ら考えて行動できることはすばらしいことです。これは、志村第二中学校の校訓「まじめ」が、在校生の皆さんに浸透していることを感じます。

新入生代表のKさんの誓いの言葉の中に「私たちは決して諦めず、何事にも「まじめ」に取り組み「自ら考える力」「互いに思いやる心」「共にやり抜く力」を大切にして、志村第二中学校の生徒としての自覚と誇りをもち行動していきます。また、どんな困難にも仲間と手を取り合い、果敢に挑戦していきます。この志村第二中学校で過ごす3年間で悔いのない充実した日々にするため、一日一日を大切にして夢や目標に向かって精一杯努力していきます。」と新入生の思いや決意を示してくれました。

また、代表生徒のAさんからは、「皆さんがこれから生活するに当たっては、基本となるのは授業です。小学校の頃より少し長い50分授業になり、毎日の授業で学んだことを積み重ねていきます。わからないことは先生に聞くと優しく教えてくれます。苦手なことにも挑戦し、わかることが増えると嬉しい気持ちになります。多くの体験を通して成長していきましょう。今日から皆さんは志村第二中学校の一員になりました。ぜひ、新たな場所で新たな自分として、これからの学校生活を頑張ってください。何事にも全力で挑戦してください。そして、一緒に、よりよい志村第二中学校を作っていきます」とあり、授業を大切に、新たな自分としてよりよい学校を共に創るという思いがあったと思います。このような思いが学校を創っていきます。新入生の菊地さんの決意、そして代表の荒武さんの『より良い学校を共に創ろう』という呼びかけ。こうした一人ひとりの『思い』が、これからの志村第二中学校を形作っていきます。校訓『まじめ』を胸に、さらによりよい学校を皆で創り上げていきましょう。



私達の理想でした

「写真」第7回卒業記念誌より

令和8年度のスタートにあたり

やわらかな春の日差しに包まれ、校庭の木々も芽吹き生き生きと輝く季節に、板橋区立志村第二中学校に126名の新生を迎え、全校生徒379名で新たなスタートをすることができましたことをとてもうれしく思います。私は今年度校長に着任いたしました小室仁一です。創立80年という伝統ある志村第二中学校を、教職員一同、生徒の主体性を重んじ、地域とともにある学校となるよう邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度 第80回 入学式 式辞

前略

新生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を在校生・教職員一同、心から歓迎いたします。

また、ご多用の中をご臨席賜りました多くのご来賓の皆様、そして保護者の皆様、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、心より厚く御礼申し上げます。

新生の皆さんが、担任の先生から名前を呼ばれた時の、真っ直ぐな瞳、そして体育館に響いた力強い返事を聞き、私は大変うれしい気持ちで胸がいっぱいになりました。

今日から皆さんは、80年という長い歴史と伝統をもつ、志村第二中学校の一員です。これから始まる3年間は、義務教育の仕上げであると同時に、皆さんが「自立した一人の大人」として社会へ羽ばたくための、大切な準備期間となります。

皆さんは将来、どんな自分になりたいですか？学ぶということは、自分の未来の「選択肢」を広げることになります。また、社会に出て学び続けることが大切になります。

本校では、生徒が未来を切り拓くために、教育目標、「自ら考える力」「互いに思いやる心」「共にやり抜く力」の3点を掲げています。

1点目は「自ら考える力」です。

現在、世の中では「学力の2極化」が進んでいると言われています。その大きな要因の一つが、皆さんも授業で活用し始める「生成AI」の存在です。

AIで検索した答えをそのままコピーしてしまうことは、問題集の答えを写したことになるので、自分自身で考えないことなので、学力は下がります。しかし、「なぜそうなるのか」をAIと共に問い直し、自分の弱点を補うために使いこなせば、学びは無限に深まります。AIに使われるのではなく、自ら考え、AIを使いこなすことが、今求められています。ぜひ、何事にも試行錯誤し、自ら考え、判断して行動してください。

2点目は「互いに思いやる心」です。

社会では、どんな仕事も一人では完結しません。自分とは違う意見をもつ仲間を尊重し、耳を傾け、手を取り合う必要があります。志村二中という大きなチームの中で、多様な個性をもつ仲間と関わり、人を思いやる温かな心を育み人間力を高めてください。

3点目：「共にやり抜く力」です。

勉強や部活動で壁にぶつかった時、「もういいや」と諦めるのではなく、友達に相談しながら「どうすればもっと良くなるか」を考え、粘り強く工夫し続けてください。その「やり抜く経験」が、未来の自分への貯金になり、大きな自信につながります。

これからの三年間、いろいろなことがあると思います。しかし、皆さんには、共に笑い、共に悩む仲間がいます。そして、皆さんの成長を全力で支える先生たちがいます。

何事も挑戦し、志村二中での一日一日を、新しい自分を見つける冒険のように楽しんでください。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。

心身ともに大きく成長するこの時期、お子様を、ときには見守り、ときには支え、保護者の皆様と教職員が両輪となって歩んでいければ幸いです。

教職員一同、お子様の可能性を最大限に引き出すよう、全力で邁進してまいらる覚悟です。

本日入学した一人ひとりの未来が、光り輝く充実したものになることを願い、式辞といたします。

令和8年4月9日 板橋区立志村第二中学校 校長 小室 仁一

入学式の写真



生徒の活躍

バレー部
第4回日大豊山女子カップ 第3位

